

**令和 4 年度「ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業」
事後評価 評価コメント**

評価課題名	研究開発 代表者名	所属	役職
AMED が行うゲノム医療研究支援サービスを支える研究開発 基盤の整備	山本 雅之	東北大学 東北メディカル・ メガバンク機構	機構長

【評価コメント】

15 万人レベルの大規模前向き住民コホートの膨大な健康情報の収集と、ゲノム・オミックス解析を実施し、得られたデータを統合解析できる情報基盤を世界に先駆けて構築する当初計画を完遂した。開始した平成 28 年当時、本課題は前衛的で挑戦的な試みと位置づけられていたが、英国 Genomics England や米国 All Of US に先駆けて構築に成功したこと、速やかに国内利用を開始することによりその利活用が毎年度増加し、世界に比肩する我が国の重要なゲノム医療研究の基盤として確立されたことを高く評価する。

また、本課題は、スパコンを活用した「健康・ゲノム情報の大規模解析」という新しい医工連携分野に先鞭をつけ、製薬企業等で当該解析を担う企業人材や、本情報基盤の設計・運営を担う教員の育成にも寄与した。その結果、その人材が単に本課題のシステム運用にとどまらず、我が国の医工連携の推進にも貢献したことを高く評価する。今後は、関連事業と連携して有用なデータを拡充しその共有を更に推進すること、遠隔セキュリティエリアの利用条件を緩和して利便性を向上させること、コスト削減やシステム構成の更なる最適化を検討することを進めていただきたい。